

平成 30 年度事業報告書

[はじめに]

平成 25 年 4 月から新制度の公益財団法人に移行して 6 年が経過した。

また、昭和 52 年設立の財団法人から 42 年の経過となった。

心身障害児者及び高齢者に対する音楽の指導、援助を行い、音楽を通じて生きる喜び、健康維持、社会生活における充実感の高揚を醸成し、もって社会福祉の増進に寄与することを事業目的とし、創始者赤星建彦の理念「音楽で楽しく健康に」「生きる喜び」を継続し、音楽と福祉、医療、教育など利用者の関わる分野の理解を深めながら対応し活動を進めてきた。

[事業の報告]

①心身障害児者及び高齢者への音楽療法サービス事業

音楽療法の現場では、年々高齢化、身体虚弱、認知症など重度化が進む中、音楽での良好な反応に施設側の理解が得られている所も多かった。また、利用者の心身の状態、知的機能、生活環境などは様々であることから、それぞれセッションを担当するものは研修などに参加することでレベルアップを目指してきた。講師から年間活動報告書として提出され内容も 1 級以上の講師により確認され、事例発表にも繋げている。

1. 年間定期契約施設数

平成 30 年度	平成 29 年度
116 施設	120 施設

2. 療育音楽教室

(1) 利用人数等

	平成 30 年度	平成 29 年度
クラス数	6 クラス	6 クラス
利用人数	37 名	38 名

(2) 実施行事

日 程	行事名	内 容
5 月 6 日 (日)	ゴールドコンサート音源エントリー	キラキラスターズが演奏、録音後エントリー
5 月 19 日 (土)	小平市障がい者運動会	キラキラⅡが演奏で参加
7 月 1 日 (日)	小平市・小平商工会主催「ふれあいコンサート」	キラキラスターズが出演
7 月 21 日 (土) 8 月 18 日 (土)	楽器体験教室 (ドラム)	6 名が参加 体験料は 1 回 2,000 円
7 月 28 日 (土) 8 月 25 日 (土)	楽器体験教室 (ピアノ)	2 名が参加 体験料は 1 回 2,000 円
8 月 29 日 (水)	みんなの音楽会 in 多摩	キラキラスターズがゲスト出演

10月14日(日)	小平青少年音楽祭	キラキラスターズが出演
12月1日(土)	みんなでつくる音楽祭 in 小平	ピーコック、ハミングバードが出演
12月16日(日)	クリスマス音楽会	全クラスが出演 参加費 1名 350円
3月23日(土)	春の歌まつり	キラキラⅡ、ピーコック、ハミングバード、ドラムクラスの20名が参加 参加費 1名 300円

3. 音楽療法普及活動

心身障害児者や高齢者の方に楽器を使用して音楽療法を行っていること、音楽療法の現場で療育効果を考慮して開発した楽器と教材や音楽療法の現場でよく使用する楽器を普及する目的で楽器フェアに出展した。内容としては、当協会の音楽療法で使用する楽器や楽譜等の展示、「Happy&Healthy Music」のバックナンバーを1500部配布。当協会のブースに来場された方に対するアンケート調査を行った。

- (1) 催事名 2018 楽器フェア
- (2) 会場 東京ビッグサイト
- (3) 日時 平成30年10月19日(金) 12:00~19:00
平成30年10月20日(土) 10:00~18:00
平成30年10月21日(日) 10:00~17:00
- (4) 来場者数 50,841名

4. 職員数 3名(平成29年度 3名)

5. 講師

- (1) 人数 55名(平成29年度 57名)
- (2) 勉強会の実施(年10回)

日程	講師	内容
4月22日(日)	奥住昌子 小林俊恵	嚙下促進、介護予防、転倒防止を目的としたリハビリ専門家からの体操など
5月27日(日)	村上か乃 野田淳子	障害児者の特徴的な心理に対応したセッションの実際
6月24日(日)	伊藤和美 高橋祐子 廣田知子	1. 音楽療法がきっかけとなりQOLが向上したA氏 2. 成人障害児の集団音楽療法 3. 問題行動のあるKさんと他者のかかわり
7月22日(日)	城間定治 (理学療法士)	音楽療法士が学ぶ身体の仕組みと働き

10月1日(月)	赤星多賀子 小林俊恵	みんなの音楽会の参加者の様子、日頃のセッションとの違いなどを学ぶ
10月28日(日)	石井孝弘 (帝京科学大学理学部教授)	感覚統合の理論と実践
11月25日(日)	深井真理子 鈴木香司	1. 高齢者通所施設における歌唱活動について 2. 療育音楽のセッションに消極的参加から継続参加を促すアプローチ
1月27日(日)	中村茂美 深井真理子	手遊び、わらべ歌など小ネタを学ぶ
2月24日(日)	小林俊恵 野田淳子	新しいメソッドから基礎を確認する概要
3月24日(日)	赤星多賀子 小林俊恵	年間レポート、事例の書き方

②心身障害児に対する児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

「みんなの家'77」は平成25年度から厚労省の児童福祉法が改正になりサービス体系も児童自立支援制度での活動、放課後等デイサービスとしての6年が経過した。平成30年度の利用状況は概ね順調であったが、報酬単価減額があり大幅な減収となった。

1. 利用者数

	平成30年度	平成29年度
利用定員	10名	10名
登録者数	43名	39名
年間利用延べ人数	2389名	2245名
1日当たり平均利用者数	約10.1名	約9.4名

2. 職員数

	平成30年度	平成29年度
管理者	1名	1名
児童発達支援管理責任者	1名	1名
児童指導員(常勤)	2名	1名
指導員(常勤)	1名	2名
児童指導員(非常勤)	2名	2名
指導員(非常勤)	1名	2名
事務員(非常勤)	1名	0名
音楽療法士	2名	2名
合計	11名	11名

3. 開所日数時間

	平成 30 年度	平成 29 年度
開所日数	238 日	238 日

営業時間 10 時 00 分～19 時 00 分

サービス利用時間 12 時 30 分～18 時 30 分

4. 実施行事

日 程	行事名	内 容
5 月 26 日 (土)	家族会・保護者会	利用者が参加
6 月 17 日 (日)	親と子のコンサート	職員バンドによる演奏他
8 月 31 日 (金)	子どもまつり	利用者と親と職員の交流音楽会 14 名参加
10 月 12 日 (金) 10 月 13 日 (土)	保護者会	保護者会
11 月 3 日 (土)	福祉バザー	駄菓子屋を出店。
11 月 16 日 (金) 11 月 17 日 (土)	新規説明会	新規利用者向け説明会
12 月 16 日 (日)	クリスマス会	利用者が出演 102 名参加 参加費 1 人 350 円

③心身障害児者及び高齢者を中心とした音楽会の開催

障害児者と高齢者の交流と発表の場である「みんなの音楽会」は今年度 44 回を迎えた。

朝日新聞厚生文化事業団、東京都社会福祉協議会、NHK厚生文化事業団、東京都、浴風会、日本歌手協会の後援、東京楽器協会の協賛を得て行われた。9 月 30 日も開催を予定していたが台風の影響で中止になった。参加団体は障害児者及び高齢者によって結成された団体。

1. 催事名 「第 44 回みんなの音楽会」
2. 会 場 浴風会大ホール (東京都杉並区高井戸西 1-12-1)
3. 日 時 10 月 1 日 (月) 10 時～16 時
4. 出演料 1 団体 10,000 円
5. ゲスト 小錦八十吉 小錦千絵 飯田洋司
6. 動員数

	平成 30 年度	平成 29 年度
グループ数	13 グループ	21 グループ
出演者	236 名	318 名
観覧者	129 名	127 名

④心身障害児者及び高齢者のための音楽指導者の養成・資格付与に関する事業

1. 名称 第33期療育音楽・音楽療法指導者養成研修会
2. 日時 基礎Ⅰ Ⅱ 7月17日(火)～22日(日)10時～17時
 基礎Ⅲ 8月25日(土)、26日(日)、
 10月1日(月)10時～17時
 遠方からの参加者は7月17日(火)～21日(土)17時30分～19時30分
 専門Ⅰ 10月7日(日)14日(日)10時～17時
 各実習施設セッション日程(10回)
 専門Ⅱ 2月16日(土)17日(日)10時～17時
 各実習施設セッション日程(20回)
3. 会場 当協会本部、新宿スタジオ、愛全園(昭島市)、浴風会(杉並区)、各実習施設

4. 参加数

	平成30年度	平成29年度
基礎コース	13名	7名
専門コース	12名	5名

5. 外部受託研修

- (1) 受託元 株式会社ゆうか
- (2) 参加人数

	平成30年度	平成29年度
実施日数	10日	59日
受講者(基礎コース)	9名	45名

6. 修了者人数

	平成30年度	平成29年度
基礎コース	18名	52名
専門コース	4名	0名

⑤歌唱や楽器を使って演奏することによる人体に及ぼす影響についての調査研究に関する事業

1. 障害者領域調査研究

(1) 埼玉県立小児医療センター

- I 対象者 難聴児(0歳～1歳10か月)
- II 人数 約20名
- III 回数 年間24回
- IV 時間 約40分
- V 内容 適切な聴覚補償と情報提供、多職種スタッフの協力の下、約20名の難聴児を2グループに分けて音楽療法を継続実践中。
- VI 成果 母親が孤立することなく、よい親子関係が築かれることで安心して子育てができるようになった。

(2) 川越耳科学クリニック

- I 対象者 難聴児 (0歳～1歳)
- II 人数 3名
- III 回数 週1回
- IV 時間 30分
- V 内容 耳鼻咽喉科医師、言語聴覚士、看護師の下、難聴児を個別で音楽療法を行う。
- VI 成果 先天性重度難聴児に音楽療法を行うことによって運動、認知、言語発達への効果が見られた。日本小児耳鼻咽喉学会で発表した。

2. 高齢者領域調査研究

(1) 東京都健康長寿医療センター (非薬物療法室)

- I 対象者 軽度認知症
- II 人数 8名
- III 回数 週1回
- IV 時間 約60分
- V 内容 神経内科医師の下、病院の治療が終わってから音楽療法を行う。脳の画像診断のFDG-PETによる客観的評価を行い、数年後の画像と比較、変化の確認を検討し事例を重ねている。
- VI 成果 8年参加している4人に進行が見られない事例があり、引き続き研究を継続している。

3. 研究発表

7月12日13日にワークピア横浜で、第13回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会が開催され、当協会でも今までの研究成果を発表した。

日程	発表者	内容
7月12日(金)	内野すみ江 赤星多賀子 坂田英明 (川越耳科学クリニック院長) 岡田岳歩 (言語聴覚士)	先天難聴児への音楽療法 ～運動、認知、言語発達への効果の検証・3症例から～

⑥不動産貸付業

- 1. 所在地 東京都新宿区西新宿 7-22-38
賃借人 株式会社プレイヤー・コーポレーション
- 2. 所在地 東京都新宿区西新宿 7-19-8
賃借人 有限会社かれいなに企画